

なぜ車は1㎡あたり3mlなの？

— 建物施工との違い —

建物施工

室内標準施工量

1㎡あたり 2ml



- ✓ 平坦な壁面・天井が中心
- ✓ 人が直接触れる場所が少ない
- ✓ 摩耗や紫外線の影響が少ない
- ✓ 広い面積を効率的に施工できる

1Lで約500㎡施工 (約2ml/㎡)

モビリティ施工は
環境が違う



車内は
「部屋」ではなく
「部品の集合体」

車内は建物よりも過酷で
複雑な環境のため、
施工量を増やすのではなく
品質を安定させるための基準
を設けています。

車両施工

車内標準施工量

1㎡あたり 3ml

① 摩耗や紫外線などの負荷が大きい



シートの乗降



ハンドルの接触



ドアの開閉



紫外線



② 素材が多様で、部位ごとに性質が異なる



布・ファブリック



レザー



樹脂パーツ



ガラス



ゴム

③ 形状が複雑で、細かな部品が多い



曲面が多い



凹凸が多い



細かな部品



施工品質を均一にし、長期的な効果を安定させるために

1㎡あたり 3ml を標準としています。



まとめ

建物施工 (2ml/㎡) と比べ、車両施工 (3ml/㎡) は
「より過酷な環境」「多様な素材と複雑な形状」「高い施工品質の確保」のために設定されています。

